

横浜子ども会議 8/29

「つながる、広げる、いじめの未然防止の輪」

8月29日、横浜子ども会議が行われました。

青木小からは、学校進行委員会の4名の児童が参加し、「つながる、広げる、いじめの未然防止の輪～いじめをなくすために、一人ひとりができること」のテーマのもと神奈川区の小・中学校の取組を報告し合いました。

青木小でも、学校進行委員会が中心となり現在取り組んでいる「あいさつ運動」や、これから取り組む「廊下見守り隊」などを通して、クラスや学年を越えて声を掛け合える雰囲気づくりが、いじめのない学校づくりに向けた第一歩になると考えています。

青木のまちの風総会 9/16

《今回のテーマ》

Disaster（災害）Imagination（想像力）Game（ゲーム）で見直そう、青木のまち・自分のまち

昨年に続き地域の方にお越しいただき、地域の方と5・6年生と一緒に自分の住んでいる地域の防災について考えました。

地区ごとの地図を見ながら、地域防災拠点や広域避難場所の確認、危ない箇所などを話し合い、地域の方に、それぞれの地区のことを詳しく教えていただきました。

今回の総会で学んだことを家族に伝えたいと振り返る児童がたくさんいました。ご家庭で話し合うきっかけにさせていただきたいです。災害時は、地域の人同士が支え合い乗り越えなくてはならないという話もありました。互いに顔見知りになっておくことが一番大事なのかもしれません。日頃からあいさつを交わして顔見知りになり、いざという時に支え合える関係を築いていくことの大切さに、子どもたちは気付いていました。

この総会で作成した地図を体育館へ行くまでの1階の廊下に掲示しています。1年生～4年生の子どもにも紹介し、広めているところです。

《児童の振り返り》

《今日の振り返り》
古森さんが話してくれたように、学校から帰るときに、災害にあつたら、学校や、公園などの安全な場所に身をすくるということを学んだ。
家族などと、災害が起きたときにどうしたらいいかを、話し合おうと思った。

自分が友達とけんかしながら歩いているのが、
「災害が起きたときは避難訓練や今日
話し合ったことを活かして避難できるように
思いました。」